

福岡県地方協議会における検討テーマについて

トラック輸送における環境・労働時間改善福岡県地方協議会
令和元年12月12日



九州運輸局
福岡運輸支局

令和元年度の「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」の 実施事項について (令和元年8月9日 厚労省労働条件政策課長、同監督課長、国交省貨物課長通達)

平成30年度より、**特に荷待ち時間が特に長い輸送分野（以下「対象輸送分野」という）**についてそれぞれの分野ごとにサプライチェーン全体における効率化及びトラックドライバーの労働時間の改善を図るため、関係荷主、トラック運送事業者、学識経験者等から構成される懇談会を開催。

対象輸送分野 → 「加工食品」「建設資材」「紙・パルプ」

各輸送分野の懇談会では、令和元年度は、平成30年度の各懇談会での議論を踏まえて具体的な解決策を見出していくこととしている。

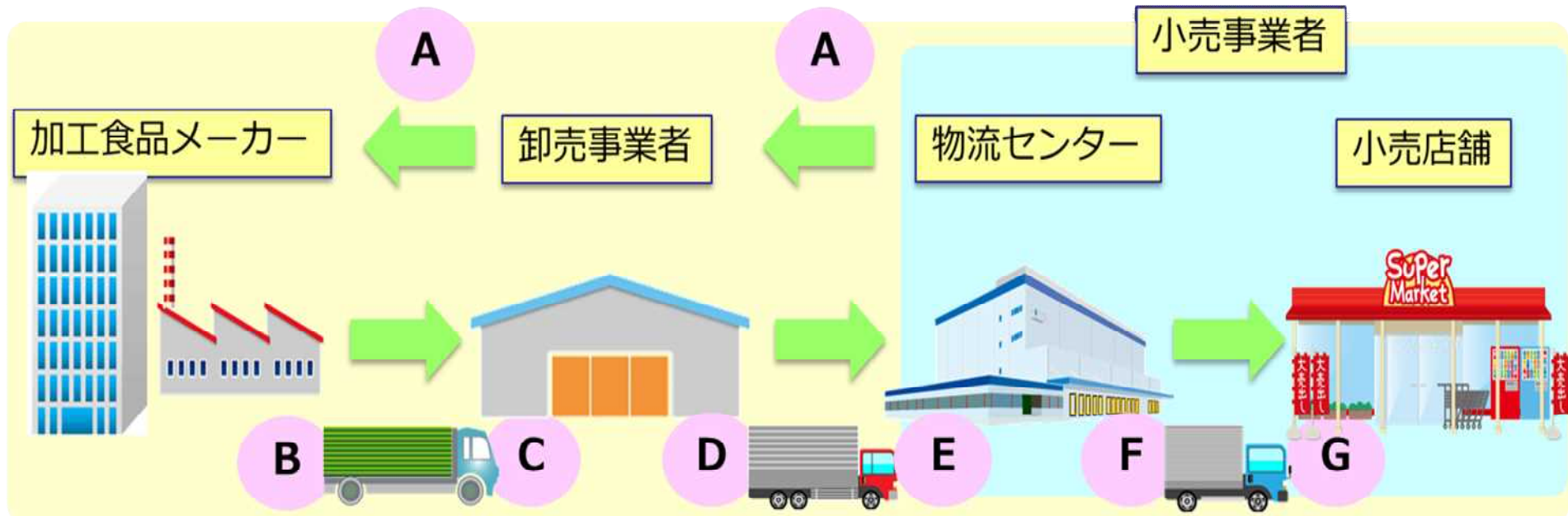
対象輸送分野において本省レベルで洗い出した課題の発生箇所やその解決のための施策等については、各地方レベルにおいても各地方の実情を踏まえながら普及・展開していくことが重要である。

については、今年度の地方協議会の重点実施事項として、対象輸送分野における課題の整理や改善策の検討等を進める。



対象輸送分野の中から 1つ以上検討するテーマを選定

加工食品物流の課題の発生個所



発生個所 A・B・D

【小売・卸発注時、メーカー・卸出荷時】

- ・発注から短期間での納品、特定の日に物量が集中
⇒ **【受発注条件の見直し】**

リードタイムの延長、事前出荷情報の提供、波動の平準化、受給調整在庫の確保

発生個所 C・E・G

【卸・物流センター・小売店舗荷卸し時】

- ・荷卸し場所の処理能力や車両集中に起因する待ち時間の発生

⇒ **【荷待ち時間の削減】**

先着順から予約制への変更、時間指定の柔軟化

発生個所 B・C・D・E

【メーカー・卸荷積み時、卸・物流センター荷卸し時】

- ・荷積み・荷卸し時に長時間の荷役作業が発生
⇒ **【荷役時間の削減】**

バラ積み貨物のパレット化、パレットサイズの統一、外装段ボールサイズの見直し

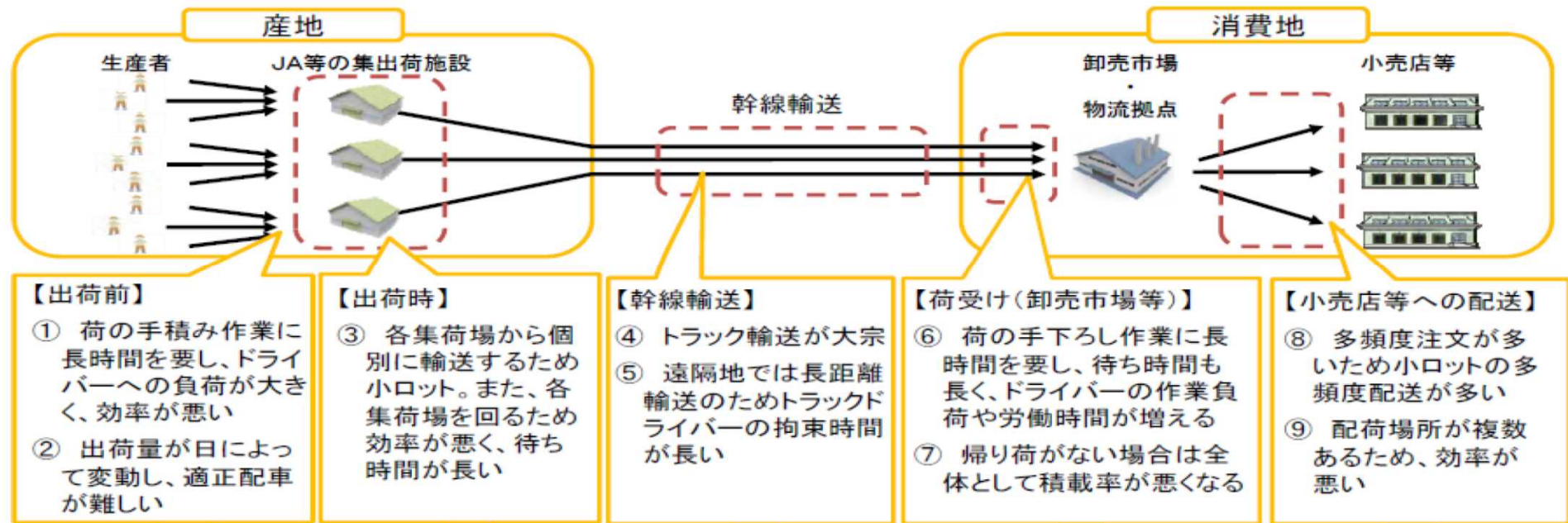
発生個所 C・E・G

【卸・物流センター・小売店舗荷卸し時】

- ・業界の慣習や目視等による長時間の検品作業
⇒ **【検品時間の削減】**

3分の1ルールの見直し徹底、年月日表記から年月表記への変更、事前出荷情報の提供とQRコード等への情報の組み込み、統一伝票や段ボールなどへの表記の標準化

農産物輸送の現状



《市場外の待機状況》

深夜は各地から到着したトラックで非常に混雑しており、市場外の公道に多くのトラックが待機しています。



参考:秋田県パイロット事業

《荷降ろし》

市場に入りきれないトラックは、公道上で荷降ろしを行います。そのため所定の荷降ろし場所までの移動にも時間を要します。



旧築地市場

農産物物流対策関係省庁連絡会議資料
2017年

○各地から東京までのトラック輸送時間

産地	時間	距離
北海道(帯広)	18時間	1,300km
青森	10時間	700km
大阪	6時間	500km
高知	12時間	800km
福岡	15時間	1,100km
宮崎	19時間	1,400km

農水省調べ

- 通達で示す対象輸送分野「加工食品」「建設資材」「紙・パルプ」の中では「加工食品」が最も荷待ち時間が生じた件数が多い（H29アンケート）
- 対象輸送分野の3分野を比較すると、輸送量・輸送頻度ともに本県では「加工食品」が最も多い（トラック協会聞き取り）
- 加工食品輸送の課題
「受発注条件」「荷待ち時間」「荷役時間」「検品時間」
この課題は、本県において別途協議している農産物輸送の課題と共通する部分が多く、また、加工食品輸送と農産物輸送は密接に関連



- 上記3点により福岡県協議会では通達で示す3分野の中では「加工食品」を検討テーマとし併せて「農産物」についても検討することとしたい。